

兵乙第貳号ノ十九

長官

副官

赤松

課長

課員

柳下

十三等出仕大輪忠顯病氣引罷御届

十三等出仕大輪忠顯病氣ニ付一週間引罷

療養候旨去ル十二日醫証相添別紙之通リ

届出候間此後待届仕候也

兵器局副長

十四年四月十八日

海軍權太書記官末川公敬

海軍卿川村純義殿

後第四六〇號

百九十六

海軍省

0352

飛子一巻の由

新儀

0354

脚子症を而足重く難治なりと申す
一冊引巻治療はなるほど是田澄庵
診制者お厚くお礼申す也

のりててりてりて

ナニ多きは 千崎忠顕

嘉慶副長

海軍佐官 佐々木 清

診断書

大輪忠顯

右之仁病氣致診察_臣處兩足甚重_リ
夜分疼痛有之_臣今_リ脚氣病_臣良間
暫_ク休憩は加_レ召_レ療_臣後_ニ擇_ニ症_ニ詳_ニ察_ニ
ち_ニ度_ニ上_ニ申_ニ候_也

明治四年四月十一

肺氣病_臣良_ニ遠_ニ田_ニ澄_ニ庵_ニ